

令和7年産(6年播)麦生育情報 No. 6 (R7.5.12)

(本年産麦の情報は今回が最終の予定)

(情報作成) 滋賀県農業技術振興センター

滋賀県近江八幡市安土町大中 516 (TEL : 0748-46-4392)

1 気象経過と生育状況

①気象の経過 (彦根気象台、平成27年～令和6年の平均値との比較)

要素 期間		平均気温	日照時間	降水量
3月	全般	平年並	やや少ない	平年並
4月	上旬	やや低い	平年並	かなり少ない
	中旬	高い	やや多い	平年並
	下旬	平年並	かなり多い	やや少ない

注) 平均気温 <±0.5℃:平年並、±0.5～1.0℃:やや高い(低い)、±1.0～2.0℃:高い(低い)、±2.0℃<:かなり高い(低い)
日照時間 <±5hr:平年並、±5～10hr:やや多い(少ない)、±10～15hr:多い(少ない)、±15hr<:かなり多い(少ない)
降水量 <±10mm:平年並、±10～20mm:やや多い(少ない)、±20～30mm:多い(少ない)、±30mm<:かなり多い(少ない)

②生育状況【農業技術振興センター麦類作況調査(4月14日現在)による。表1および後掲グラフ参照。】

- 「びわほなみ」は平年に比べ、莖数は平年並、草丈はやや長く、葉数は0.6枚多い。
- 「ふくさやか」は平年に比べ、莖数は平年並、草丈はやや長く、葉数は0.6枚多い。
- 「ファイバースノウ」は平年に比べ、莖数はやや少なく、草丈は平年並、葉数は0.2枚多い。
- 開花期は、「びわほなみ」は4月21日(平年に比べ3日遅い)、「ふくさやか」は4月22日(平年に比べ3日遅い)、「ファイバースノウ」は4月21日(平年に比べ2日遅い)であった(表2、5月8日時点)。

表1 令和7年産(6年播)麦類作況調査の結果

農業技術振興センター(近江八幡市安土町大中)

品種名	年次	3/31 調査			4/14 調査		
		莖数 (本/㎡)	草丈 (cm)	葉数 (枚)	莖数 (本/㎡)	草丈 (cm)	葉数 (枚)
びわほなみ	R7年産 (平年比)	716 (102)	56.4 (95)	9.6 (+0.6)	654 (101)	74.3 (106)	9.7 (+0.6)
	平年	705	59.1	9.0	649	70.3	9.1
ふくさやか	R7年産 (平年比)	622 (106)	60.3 (103)	9.5 (+0.6)	570 (103)	80.7 (109)	9.8 (+0.6)
	平年	589	58.6	8.9	551	73.9	9.2
ファイバース スノウ	R7年産 (平年比)	750 (97)	39.2 (83)	11.0 (-0.1)	568 (93)	81.0 (96)	12.2 (+0.2)
	平年	776	47.5	11.1	611	84.1	12.0

※播種日は、令和6年11月6日。

※「びわほなみ」の平年は、平成28,30～令和6年産(平成27,29～令和5年産)の8年間の平均値。

※「ふくさやか」・「ファイバースノウ」の平年は、平成27～令和6年産(平成26～令和5年産)の10年間の平均値。

※播種様式は条播(条間25cm)、設定播種量は8kg/10a。

5月8日現在の麦の生育状況(農技センター作況調査)



「びわほなみ」



「ふくさやか」



「ファイバースノウ」

表2 令和7年産(令和6年播)麦類作況調査の生育時期

農業技術振興センター(近江八幡市安土町大中)

	びわほなみ						ふくさやか						ニューサチホゴールデン			ファイバースノウ		
基準播種日	11/5			11/20			11/5			11/20			11/5			11/5		
産年	R7	平年	較差	R7	平年	較差	R7	平年	較差	R7	平年	較差	R7	平年	較差	R7	平年	較差
出穂期	4/10	4/6	+4	4/20	4/14	+6	4/13	4/8	+5	4/21	4/17	+4	3/30	3/24	+6	4/15	4/12	+3
開花期	4/21	4/18	+3	4/26	4/24	+2	4/22	4/19	+3	4/28	4/25	+3	-	-	-	4/21	4/19	+2
成熟期	未	5/29		未	6/3		未	5/31		未	6/3		未	5/13		未	5/24	

※平年は、「びわほなみ」は11/5播種が9年間(平成28～令和6年産)、11/20播種が8年間(平成28,30～令和6年産)、「ふくさやか」「ファイバースノウ」は10年間(平成27～令和6年産)、「ニューサチホゴールデン」は5年間(令和2～6年産)の平均値。

2 県内の状況

- 11～1月は少雨傾向で推移し、順調に生育していたが、2月上旬～3月中旬は寒気の影響で気温が平年より低く、県北部を中心に積雪があり、生育は遅れたが、茎数は概ね平年並となった。
- 3月下旬、4月中旬は気温が平年より高く、生育の遅れは回復傾向にあるが、開花期は平年よりやや遅く、ほ場内の開花のバラつきが大きくなった。
- 赤かび病の発生に好適な気象条件となると予想されることから、病害虫発生予察注意報第1号「麦類赤かび病多発のおそれ」が4月21日に県病害虫防除所から発表された。

3 今後の管理

(1) 赤かび病防除

- 小麦「びわほなみ」では、散布2回目の7～10日後頃に3回目の農薬散布を実施する。
- 「びわほなみ」以外の品種では、基本とする防除体系(小麦品種：開花始め～開花期に農薬を1回散布、六条大麦：開花始め～開花期とその7～10日後頃に農薬を合計2回散布)の農薬散布後に気温が高く、曇雨天が続く場合は、最終散布の7～10日後頃に追加散布(「びわほなみ」以外の小麦品種では2回目、六条大麦では3回目)を実施する。
(詳細は、病害虫発生予察注意報第1号「麦類赤かび病多発のおそれ」を参照)

(2) 適期収穫

- 出穂期、開花期は平年よりやや遅かったが、大阪管区気象台の1か月予報(5月8日発表)では、向こう1か月の気温は高く、特に期間の前半はかなり高くなる見込みとされており、登熟が早まると考えられるが、実際の気温によって登熟の進みが変わるため、子実水分に注意し収穫作業が遅れないよう準備を整えておく。
- 麦類の成熟期は、外観上、黄緑色が消失して黄白色または褐色になり、子実が糊状の硬さに達した時で、収穫適期は、小麦では成熟期から2～4日後、大麦では1～3日後になる。
- 収穫は子実水分30%以下になる頃に行う。水分が高いと、穀粒の損傷や品質の低下が著しく、乾燥調製施設の処理能力の低下につながり、コストも高くなる。一方、刈り遅れて、降雨にあうと、容積重が低下し、倒伏や穂発芽などの品質低下を起こす危険が高まるので注意する。なお、ビール麦や種子麦は発芽勢を確保するため子実水分25%以下で収穫する。
- 梅雨の合間を縫っての収穫作業になるため、立毛の状態でこまめに子実水分を測定するなど、ほ場の観察を十分に行い、ほ場ごとの作業計画を綿密に立て、刈り遅れないよう注意する。
- 発熱や発酵による被害粒の発生を防止するため、穀粒水分の高い麦は収穫後、速やかに乾燥工程に移す。

表3 登熟期の有効積算気温による小麦の成熟期予測

品種名	1) 基準 播種日	1) 出穂期	成熟期予測日 2)			平年の 成熟期	昨年の 成熟期
			5/8 以降の日平均気温 3)				
			平年並の場合	平年+1℃の場合	平年-1℃の場合		
びわほなみ	11/5	4/10	5/31	5/29	6/3	5/29	5/26
	11/20	4/20	6/5	6/2	6/8	6/3	6/1
ふくさやか	11/5	4/13	6/3	6/1	6/6	5/31	5/30
	11/20	4/21	6/7	6/4	6/10	6/3	6/5

※1) 基準播種日および出穂期は農業技術振興センター麦類作況調査データ。

2) 出穂期の翌日からの有効積算気温(10℃以上)が、「びわほなみ」は 340℃、「ふくさやか」は 360℃に最も近くなる日を予定日としている(5/7 までの日平均気温は彦根气象台観測データ)。

3) 5/8 以降の日平均気温は H27 年～R6 年の 10 年間の平均値を平年とする。

平年+1℃、-1℃は、5/8 以降の日平均気温が毎日、平年値より+1℃、-1℃になったとして計算。

水分 (%)		20	30	40	
色 (背側)		褐色		黄白色	緑がかる
(腹側)		褐色		黄白色	緑がかる
硬さ (指の腹で)		つぶせない	押しつぶせる	ひねりつぶせる (糊状)	ひねりつぶせる (乳液状)
硬さ (爪の先で)	割りにくい	なんとか割れる	少し硬い	容易に割れる	つぶれる
断面形状		固形状	硬い糊状	柔らかい糊状	乳液状

コンバイン収穫適期

図1 簡便法による収穫適期の見分け方

(3) 排水対策

○登熟期の湿害は減収するだけでなく、加工適性を含め品質を大きく低下させるので、排水溝を今一度点検し、速やかに排水するよう、溝さらえ等を徹底して行う。

【参考サイト】

農業技術振興センター

<http://www.pref.shiga.lg.jp/nougicenter/>

病虫害防除所

<http://www.pref.shiga.lg.jp/boujyo/>

彦根地方气象台

<http://www.jma-net.go.jp/hikone/>

早期天候情報

<https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/souten/>



農業技術振興センター



病虫害防除所



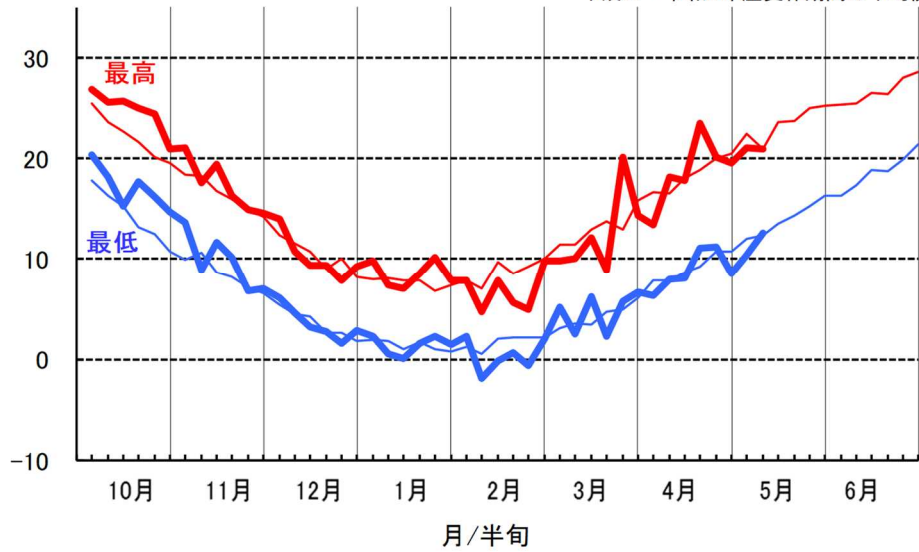
彦根地方气象台



早期天候情報

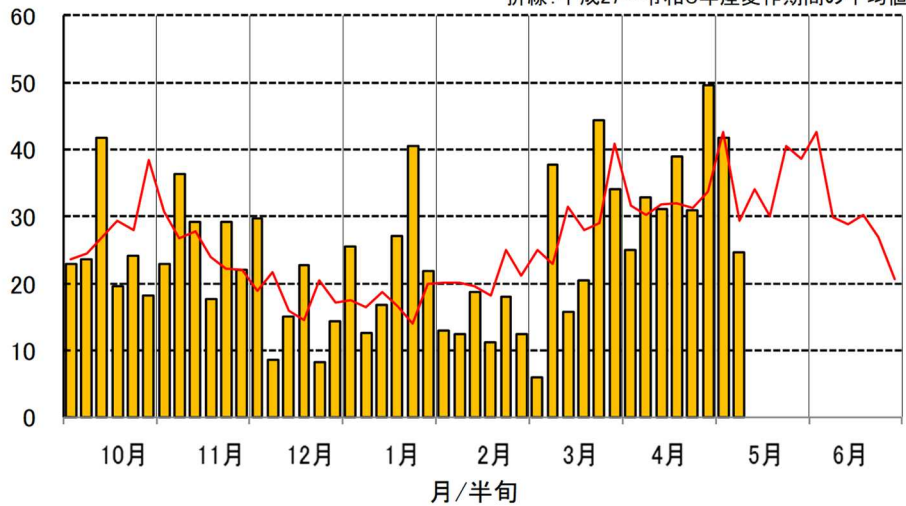
令和7年産(令和6年播) 麦作期間半旬別気象図(彦根気象台観測)

(°C) 【気温の推移(最高気温、最低気温)】 棒線: 本年(令和7年産)
折線: 平成27~令和6年産麦作期間の平均値



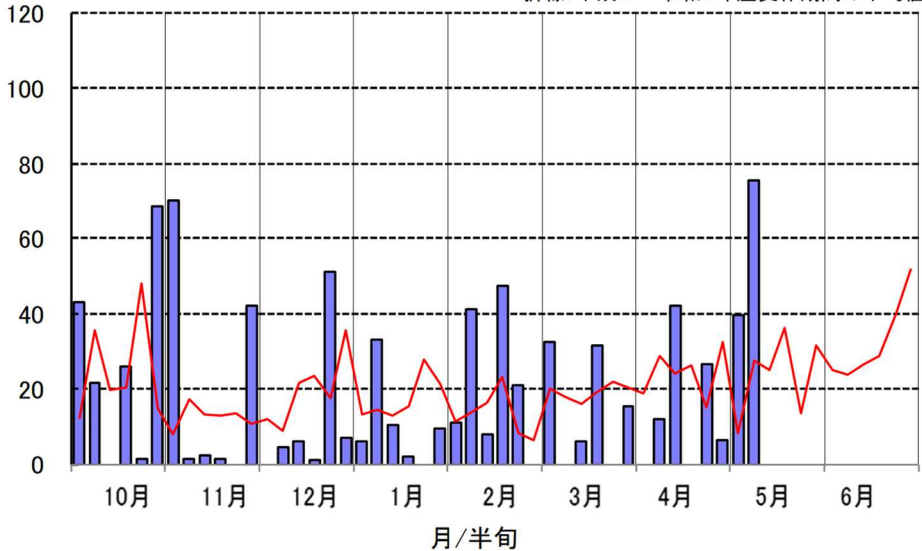
(hr) 【日照時間の推移】

棒線: 本年(令和7年産)
折線: 平成27~令和6年産麦作期間の平均値



(mm) 【降水量の推移】

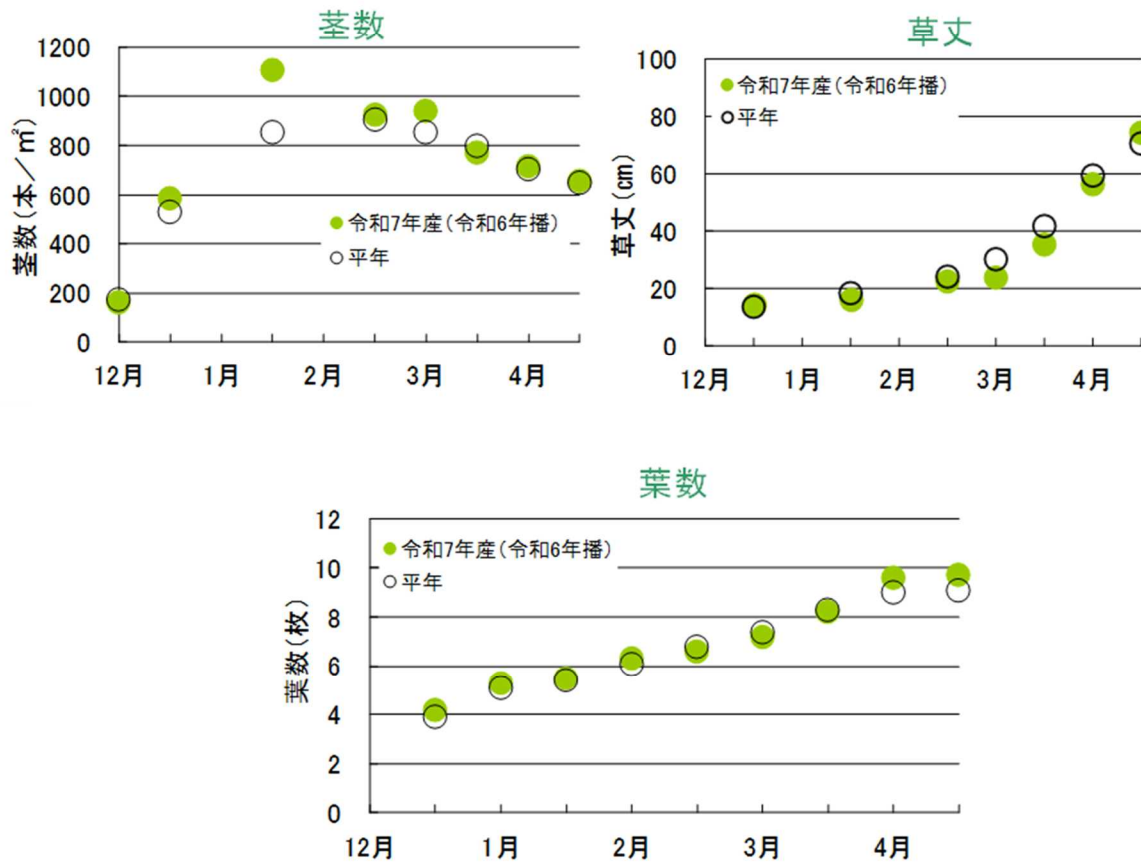
棒線: 本年(令和7年産)
折線: 平成27~令和6年産麦作期間の平均値



令和7年産生育調査結果(1)

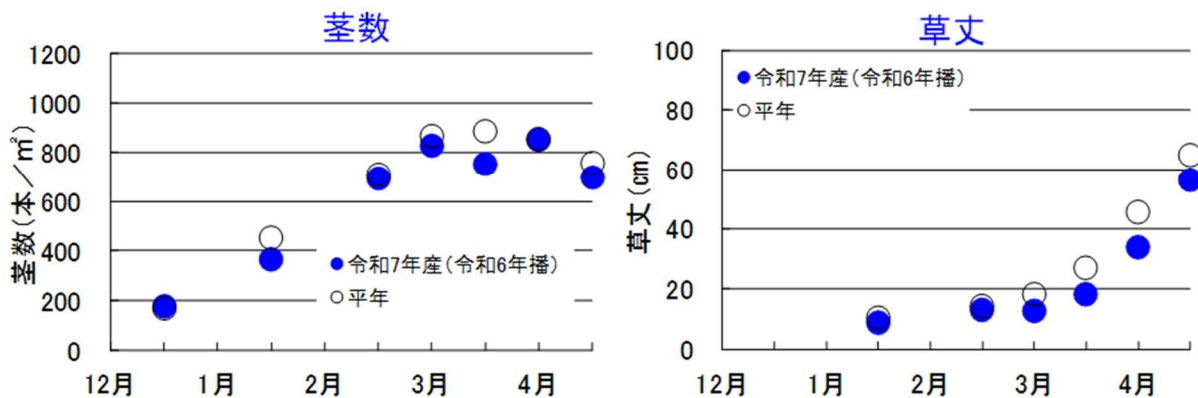
「びわほなみ」

令和6年11月6日播



(参考)

令和6年11月20日播

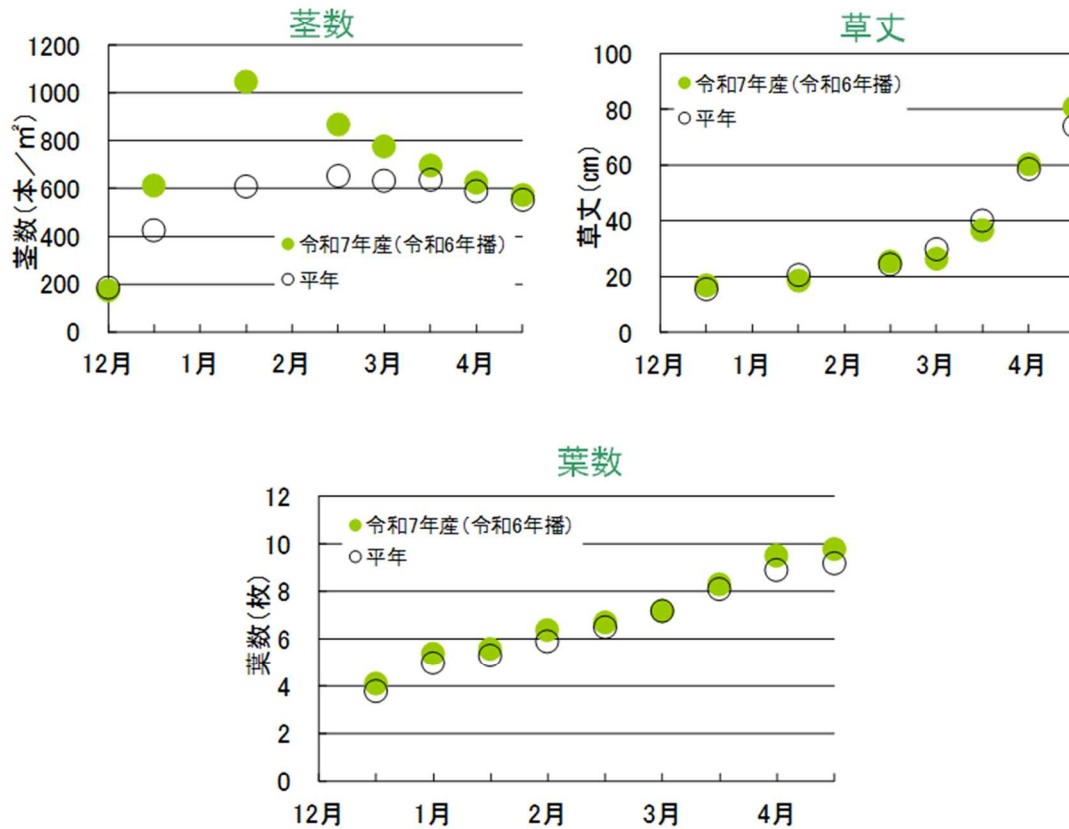


※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成28,30～令和6年産(平成27,29～令和5年播)の8年間の平均値。

令和7年産生育調査結果(2)

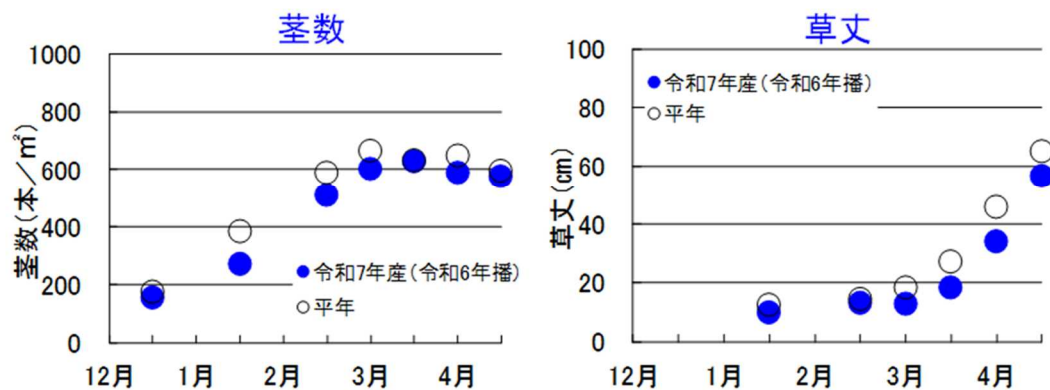
「ふくさやか」

令和6年11月6日播



(参考)

令和6年11月20日播

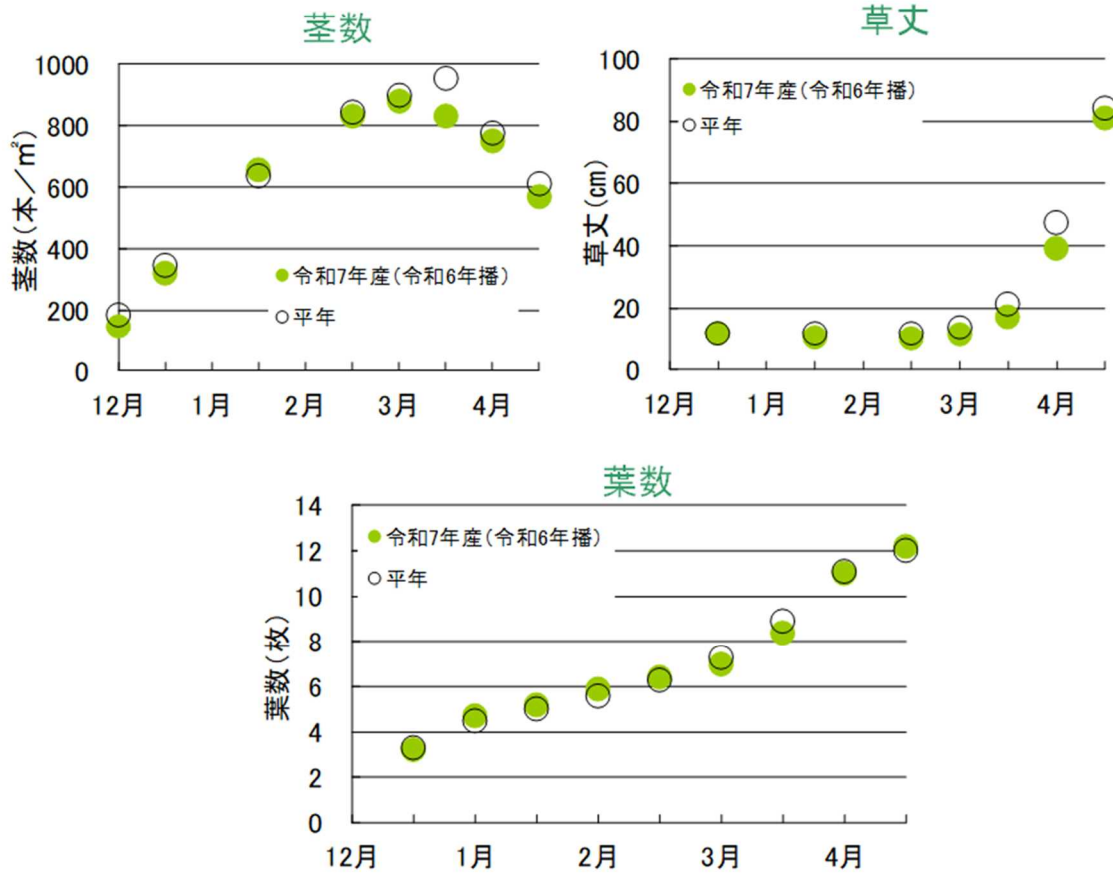


※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成27～令和6年産(平成26～令和5年播)の10年間の平均値。

令和7年産生育調査結果(3)

「ファイバースノウ」

令和6年11月6日播



※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成27～令和6年産(平成26～令和5年播)の10年間の平均値。



Instagram始めました

滋賀県農業技術振興センターの
公式アカウントです
各研究部門・農業大学校・
農業革新支援部から
旬の情報やお知らせを
お届けします
フォローをお願いします！
(写真は今後の配信内容イメージです)

nougi_shiga

検索



NOUGI_SHIGA



滋賀県農業技術振興センター